

インドにおける貨物輸送の課題:

“リードタイムの長期化”, “輸送遅延”, “所在不明”

貨物輸送の主な現状

輸送リードタイムの長期化

コンテナがターミナルに
滞留

輸送状況のトレースが困難

解決すべき課題

輸送リードタイムの短縮

スムーズなコンテナの積替え

会社間連携で輸送状況可視化

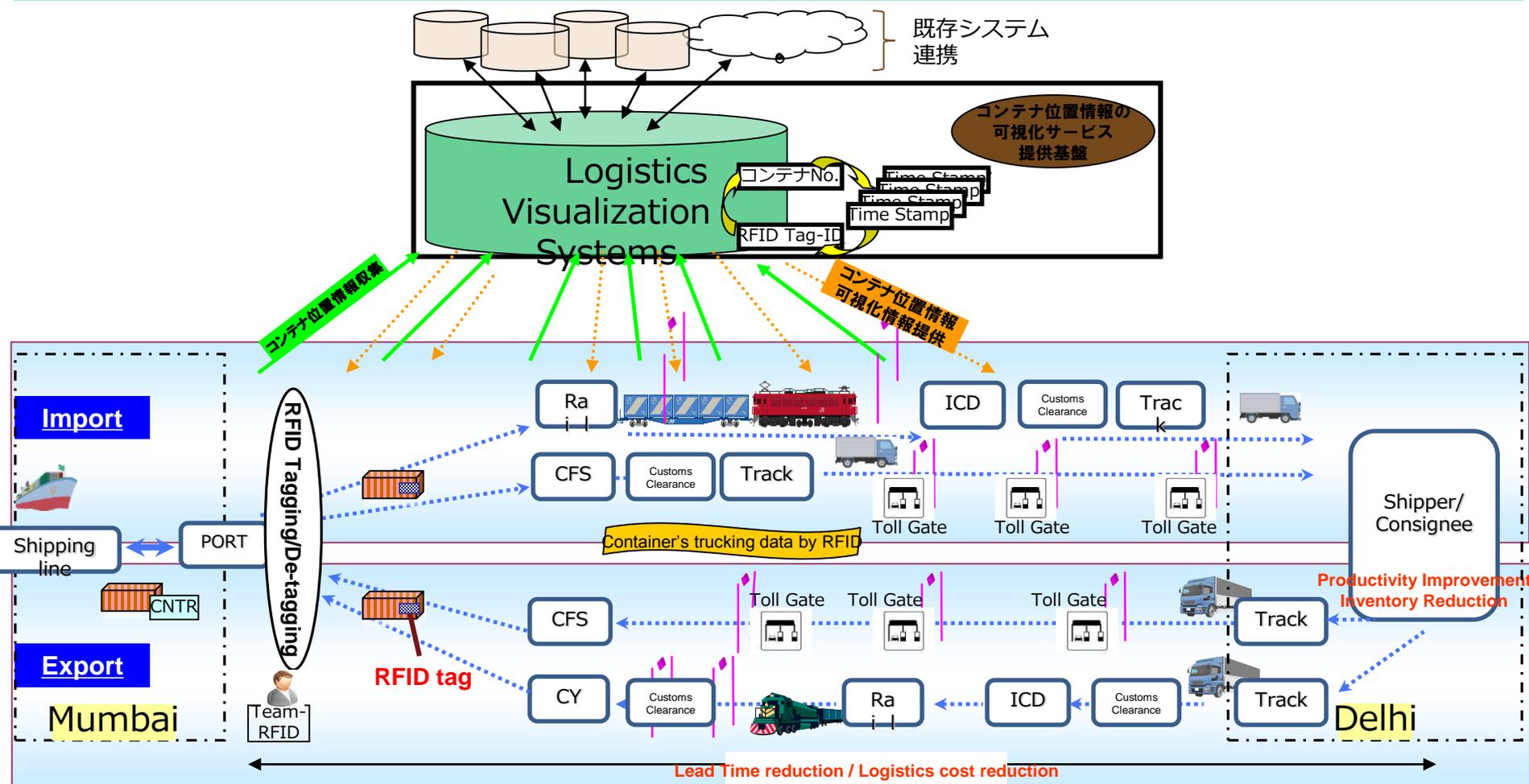
解決ポイント

“貨物輸送情報の可視化”による
サプライチェーンの再設計および改善

NEC物流可視化ソリューション
で物流の高度化を実現！

物流可視化サービスの概要

インド国内のPort to Doorの海上コンテナの輸送情報を可視化する情報サービス基盤をご提供。関連事業者間でコンテナ情報を共有することにより、リードタイム短縮と輸送コスト削減に貢献することを目指す。



- * CFS : Container Freight Station
- * ICD : Inland Container Depot

インドDMIC 物流可視化ソリューションのCO2削減効果

■ 絶対値では年間12万トン削減、貨物量増加分を反映すると年間17万トン削減

	Feb'17	Dec'17	Δ	
Carbon emission (kg/month)	39,839,484	29,578,654	10,260,830	26%
volume	177,821	207,470		
volume as Feb'17 = 1	1	1.17	123,130	t-CO2/y
Carbon emission (if volume is stable between Feb and Dec)	39,839,484	25,351,645	14,487,839	36%
			173,854	t-CO2/y

←貨物量増加分を反映